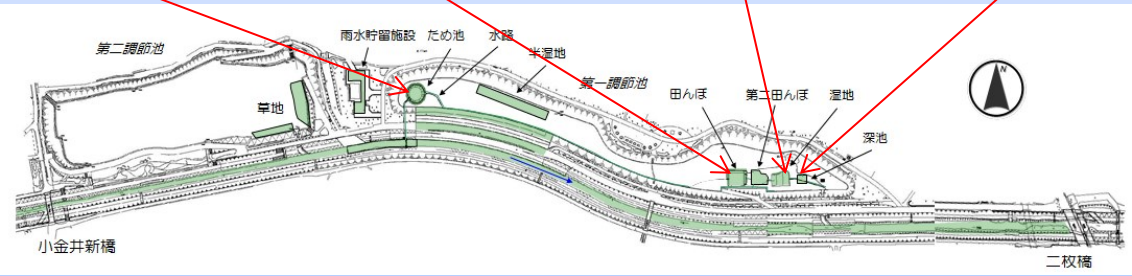


# 野川自然の会の活動



水のある豊かな自然環境を再生



## 人が自然と触れ合う場を共に楽しむ

1月

塩水選

今年撒く元気なお米を選び、「とっちゃなげ」鍋で年始めを祝います



9月

稲刈り

実った稲をみんなで刈り取ります。足元では魚たちが騒いでいます



5月

田植え

苗床で育てた苗をみんなで植えます。無農薬な田んぼで安心して泥んこになります



脱穀・唐箕

お日様をいっぱい浴びた稲から脱穀機(だっこき)でモミを取り、唐箕(とうみ)で余分な稲わらを取り除きます



7月

生きもの観察会

田んぼ近くの草むらで子ども達と昆虫採集を楽しみます



11月

収穫祭

モミから取り出した玄米を精米したお米でおにぎりを作り、豚汁と一緒に頂き、1年の収穫を祝います



# モニタリング部会の活動

## 水生生物

年4回、月曜日  
10:00-12:30



野川や田んぼ、湿地などの水の中にはどんな生き物が棲んでいるか、じっくり観察



黒い羽根をひらひらさせながら飛ぶ「ハグロトンボ」の幼虫です



田んぼの中では「トウヨシノボリ」が元気に泳ぎ回っています



「ダイサギ」と「カルガモ」が仲良く田んぼの生きものを食事中



案山子の頭から「カワセミ」が田んぼの生きものを狙っています



抜き足差し足の「コサギ」も田んぼの生きものを狙っています

## 昆虫

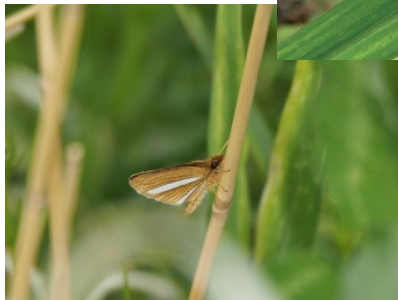
5-11月、月1回  
8:30-11:30



「コオニヤンマ」がオギの穂で一休み



東京では将来いなくなってしまう恐れのある「ショウリョウバッタモドキ」が草むらで隠れん坊しています



草の間を素早く飛び回る「ギンイチモンジセセリ」

## 植物

随時観察  
9:30-11:30



日本中で保護が求められている「カントウヨメナ」が田んぼ周りで咲いています



日本中で保護が求められている「ミゾコウジュ」も調節池に咲いています



野川に咲く「ミクリ」、イガクリに似た実を作ります

## 水

毎月第2土曜日  
13:30-15:00

田んぼや湿地の水の汚れ具合を定期的に確認しています



野川から取り込んだ水を田んぼに送り込む水路途中で流量測定

# 田んぼ部会の活動



第一とんぼたんぼ

第二とんぼたんぼ

## 【「通年湛水＋不耕起移植栽培＋無農薬・無化学肥料」農法】

- 「通年湛水」; 1年中水を張ることで、雑草を減らし、生き物にも優しい
- 「不耕起移植栽培」; 耕さず土の力を活用し、苗床で育てた苗を植えるだけなので働き手にも優しい
- 「無農薬・無化学肥料」; 農薬も化学肥料も使わない、生き物にも、人にも優しい



田んぼの中はイトミミズやバクテリアが繁殖し、土壌が肥沃になっている。



イトミミズ;  
田んぼを耕すイトミミズのフンは稲の肥料となる

## 【維持作業】

- 田んぼの水管理
- 毎月第4日曜日(9:30～11:30am)が「田んぼデー」、草刈り、水路掃除、イベント準備等
- 稲の発育の観察・記録(コシヒカリ、いのちの巻、古代米(黒米、赤米))